

富山医薬品化学研究会（トメックス）について

富山医薬品化学研究会（Toyama Medicinal Chemistry Society : TOMECS）は、フォーラム富山「創薬」のサテライト組織として、平成14年（2002年）に根本英雄先生（富山大学名誉教授、故人）が中心となり設立され、医薬品化学を基盤とした研究・開発を通して、富山県内の産学官連携、情報交換と交流を目的とした活動を行っています。

令和元年現在、主に富山県内の大学、製薬関連企業、行政機関で、医薬品の探索、製造、開発に携わっている関係者107名が個人会員として登録され、研究会活動に様々な貢献を頂いています。

具体的な活動内容としては、毎月8月頃に定期研究会を開催して、医薬品化学に関連する話題提供と情報交換を行っており、富山県産学官の横の繋がりを深化・継続させるとともに、富山県内で開催される化学系学会、シンポジウムへの協賛活動や、平成30年度から立ち上げられた「日本プロセス化学会北陸地区フォーラム」へのコミットなど、多彩な活動を行っています。

初代会長・根本英雄先生（富山大学薬学部 ※）から、畑中保丸先生（富山大学薬学部 ※）、平井美朗先生（富山大学理学部 ※）、中島範行先生（富山県立大学工学部 ※）と、脈々と受け継がれてきたトメックス会長の襷は、平成30年度から松谷裕二先生（富山大学薬学部）に引き継がれ、今後、さらなる研究会活動の活性化により、「くすりの富山」の振興への貢献を目指しています。【※ 会長職当時の所属】